

岩手県奥州市 主要地方道一関北上線

せいぼ

生母地区舗装補修工事



キーワード	ICT施工 / 新技術の活用 / ICT現場 / ICT現場見学会
-------	-----------------------------------

工期	R4.7.28~R4.12.28	取組概要
工事内容 (主要工種)	路面切削工 13,260m ² 表層工 13,660m ² 区画線工 5,283m	<p>交通量が多く、見通しが悪いカーブと大型車のすれ違いが難しい狭窄部が点在する場所であったため、施工に際しては安全面から道路上での人力作業を少なくすることを最優先と考え、省力化及び作業フローの簡素化が図れる受注者希望型ICT路面切削機を用いた工事を行った。地上型レーザーキャナー及びGNSSシステムを使用することで従来の一般施工及びTSシステムと比較し省力化だけではなく、路上作業の低減による安全面の向上を図った。</p> <p>また、毎年県内の高校生を対象としたインターンシップを受入れ、ICT施工現場を優先的に現場見学し、公共工事への興味を持ってもらい次世代の社会インフラを支える担い手の育成に取り組んでいる。</p>
発注者	岩手県 県南広域振興局 土木部 道路河川環境課	
受注者	岩手ニチレキ(株) 岩手県奥州市水沢工業団地4丁目29番地	



地上型レーザーキャナーによる
3次元現況計測

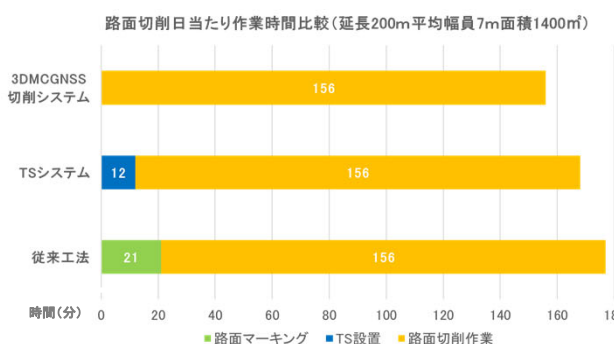


3DMCGNSS切削システムによる路面切削

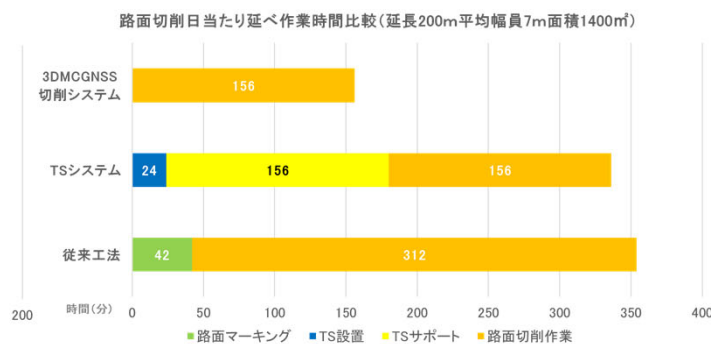


自動追尾TSによる施工精度確認

本工事におけるGNSS切削システムとTS・従来工法との比較



- 従来工法との比較：12%作業時間短縮
- TSシステムとの比較：7%作業時間短縮



- 従来工法との比較：56%省人化
- TSシステムとの比較：54%省人化

特筆すべき点

● ICT技術のGNSS切削システムを使用することで、各プロセスにおいて省力化・短時間化・高精度な施工が可能となり、安全性の確保も可能となる。

省力化は業界全体の慢性的な現場従事者不足解消、短時間化は残業時間問題への対応が図れ生産性の向上に寄与することが出来る。